

# BCPOS<sup>®</sup> ver.6

---

ユーザーガイド

インストールマニュアル STAR プリンタ版

**※ インストールを行う前に必ずお読みください****必ずお読みください！****インストールの際の注意点**

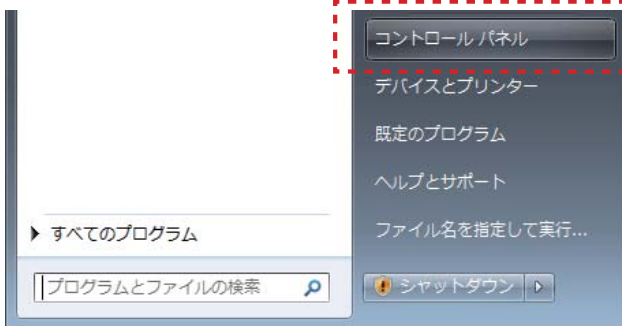
- ・インストールを行う前に、必ず全てのプログラムを終了させてください。
- ・新規インストールの場合は、周辺機器を接続しないでください。

**再インストール・バージョンアップの際の注意点**

- ・再インストール・バージョンアップを行う場合には、安全のため必ずデータのバックアップを取ってください。基本的にデータや設定はそのまま残りますが、バックアップを取らずにインストールした場合、データに支障をきたしても弊社では一切責任を負えませんのでご了承ください。
- ・再インストール・バージョンアップの場合、BCPOS インストール後の「周辺機器のドライバインストール」(P-8)で、ご利用のパソコンにすでにインストールされているドライバは表示されません。
- ・BCPOS Ver2.5-2.9-3.0 をご利用の場合、Ver5 へバージョンアップする際には、パスワードの再発行が必要となります。パスワード発行手続き及び、周辺機器の確認等させていただきますので別途お問合せください。
- ・LockStar の番号により、Windows7(64bit)・Windows8 非対応となり交換が必要となります。LockStar 番号の確認方法は P-25 を参照してください。

**インストールの準備****■ 手順 1 (Windows7 の場合)**

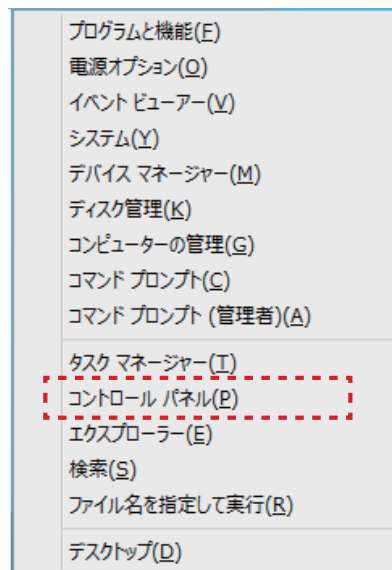
スタートメニューを開き (画面左下のウインドウズのマークを押す)「コントロール パネル」を押します。

**■ 手順 1 (Windows8 の場合)**

スタートメニュー内の、デスクトップを押してデスクトップを表示し、キーボードの Windows キーと X を同時に押します。



「コントロールパネル」を押します。



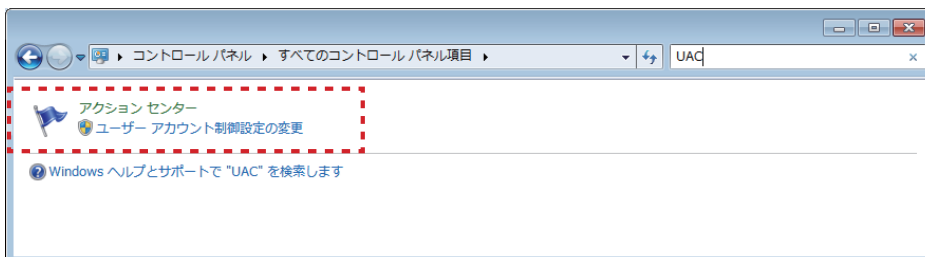
## ■ 手順 2

「コントロール パネル」のウィンドウが表示されるので、右上の検索窓に「UAC」と入力します。



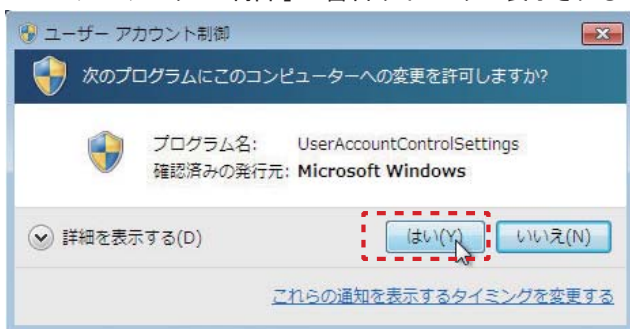
## ■ 手順 3

「ユーザーアカウント制御 (UAC) 設定の変更」と表示されている項目を押します。



## ■ 手順 4

「ユーザー アカウント制御」の警告ウィンドウが表示されるので「はい (Y)」を押します。

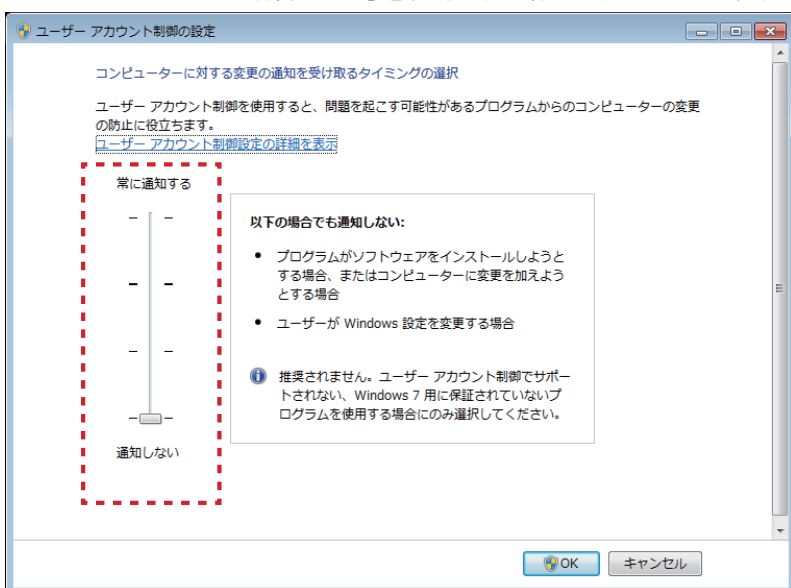


## ■ 手順 5

左側のバーを一番下の「通知しない」まで動かし「OK」ボタンを押します。

「ユーザーアカウント制御 (UAC)」の無効化を行ってから BCPOS のインストールを実行してください。

※「ユーザーアカウント制御 (UAC)」を有効にする場合は、BCPOS の設定がすべて完了してから有効にしてください。



## ① インストール

各種インストールが終了するまで、周辺機器をパソコン (POS) に接続しないでください  
 周辺機器の接続は、P-12の「カスタマディスプレイの設定…」からとなります。  
 ※ 再インストール・バージョンアップの場合は、この限りではありません。

### 1-1 新規インストール (CD-ROM 編)

#### ■ 手順 1

BCPOSのCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入します。  
 自動再生画面が表示されましたら [setup.exe の実行] を選択してください。



#### ■ 手順 2

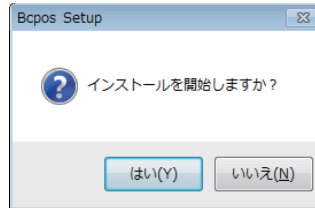
[セットアップ] が表示されたら [セットアップ] を押します。



### 1-1 新規インストール (ダウンロード編)

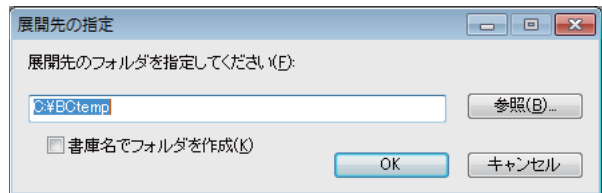
#### ■ 手順 1

ショップページより、インストールプログラムを実行します。  
 ※ご利用環境によって、指定のフォルダにダウンロードされています。



#### ■ 手順 2

インストールに必要なファイルを展開する場所の指定画面が表示されます。特別な理由がない限り、そのまま [OK] を押してください。



※ここで他のフォルダを指定した場合には、自動的にセットアップが起動しませんので次項の※トラブルシューティングを実行してセットアップを起動する必要があります。

#### ■ 手順 3

ファイルの展開が完了すると [BCPOS セットアップ] が表示されます。



上記 [BCPOS セットアップ] ダイアログが表示されなかった場合は次項参照

### 1-1 再インストール・バージョンアップの場合

BCPOSを再インストールする場合や新しいバージョンのBCPOSをインストールする場合には、ハードウェアの環境によって、インストール手順等が異なります。

また、WindowsOSのバージョンにより周辺機器が対応していない場合がございます。

お店に合った、インストールの手順をご案内差し上げますので巻末のユーザーサポートまでご連絡ください。また、インストールから各種ドライバの設定まで約1時間かかりますので、時間に余裕がある時にバージョンアップをする事をお勧めします。

※ **トラブルシューティング (BCPOS インストールが始まらない)**

**[BCPOS セットアップ] ダイアログが表示されなかった場合  
(自動的に BCPOS のセットアップが始まらない場合)**

**CD-ROM の場合**

自動的にセットアップ画面が表示されない場合は、下記手順でインストールを開始します。

- 手順 1  
マイコンピュータを開きます。  
(Windows キー +E)



- 手順 2  
CD/DVD ドライブをダブルクリックします。



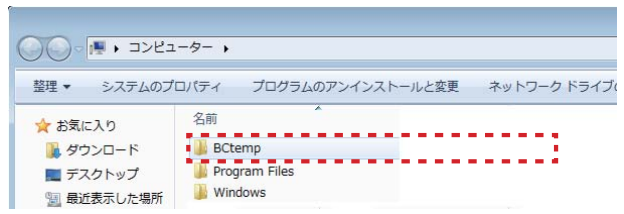
**ダウンロード (Web) の場合**

自動的にセットアップ画面が表示されない場合は、下記手順でインストールを開始します。

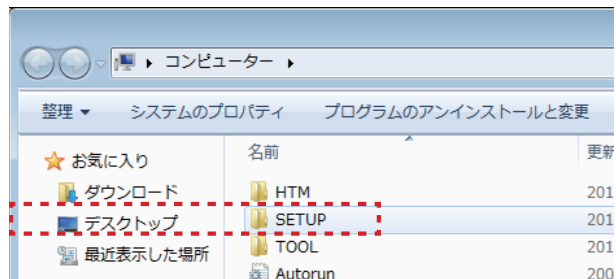
- 手順 1  
マイコンピュータを開きます。  
インストール用ファイルを展開したドライブを開きます。



- 手順 2  
[BCtemp] フォルダを開きます。



- 手順 3 (CD-ROM & WEB 共通)  
[SETUP] フォルダを開きます。



- 手順 4 (CD-ROM & WEB 共通)  
[Setup.exe] ファイルを開きます。  
※同名ファイルがありますが、BC アイコンのファイルを実行してください。



- 手順 5 (CD-ROM & WEB 共通)  
[BCPOS セットアップ] ダイアログが表示されたら[セットアップ] ボタンを押します。



## 1-2 BCPOS セットアップの実行

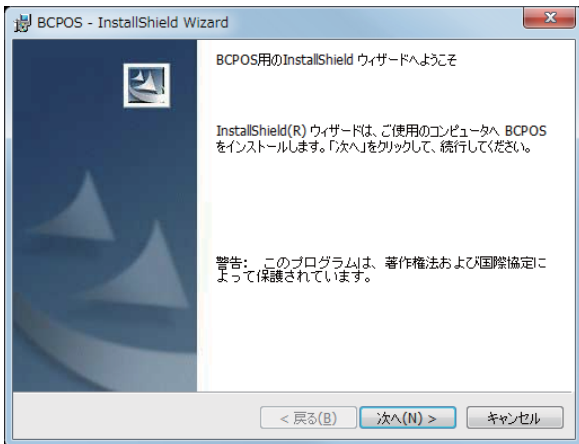
## ■ 手順 1

[セットアップ] (下図) が表示されたら [セットアップ] を押します。



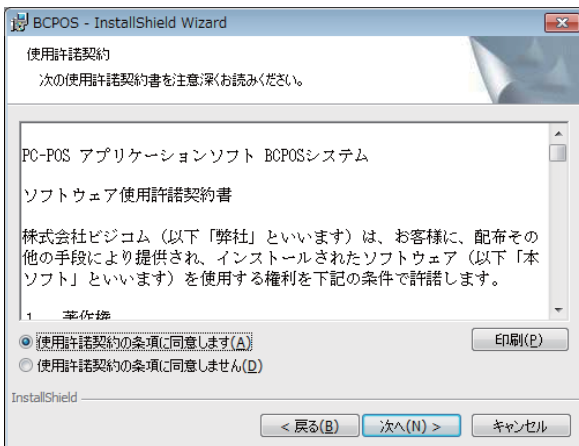
## ■ 手順 2

[インストールウィザード] が表示されますので [次へ] を押します。



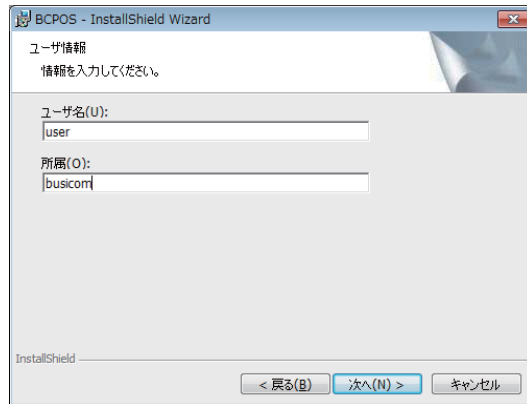
## ■ 手順 3

[使用許諾契約] が表示されます。  
[使用許諾契約の条項に同意します(A)] に  
チェックを入れて [次へ] を押します。



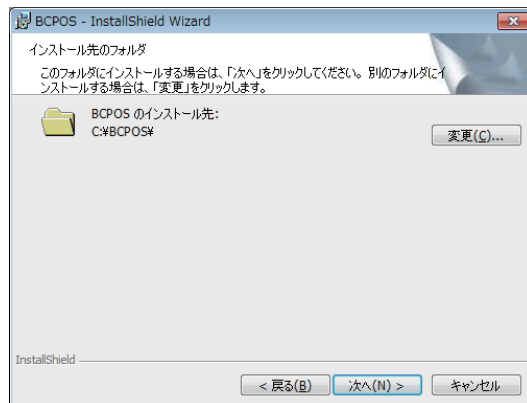
## ■ 手順 4

[ユーザー情報] が表示されたら名前と所属名を入力し  
[次へ] を押します。※省略可能です。



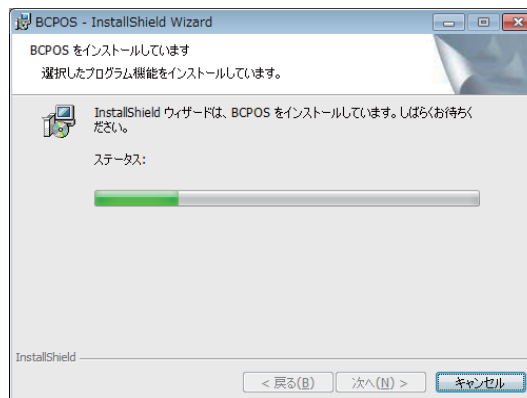
## ■ 手順 5

[インストール先の選択] が表示されますので [次へ] を押します。



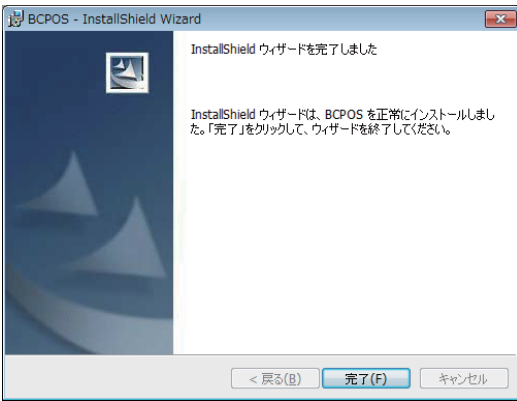
## ■ 手順 6

インストールが開始されます。暫くお待ちください。



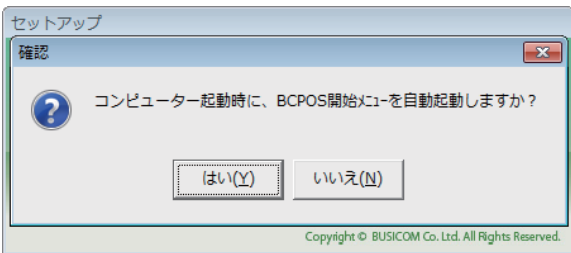
■ 手順 7

[セットアップ完了]が表示されます。  
[完了]を押します。



■ 手順 8

[確認] ダイアログが表示されます。  
[はい]を選択するとパソコンの起動後、自動的にBCPOSが起動する設定になります。  
自動的にBCPOSを起動する場合は[はい]、そうでない場合は[いいえ]を選択してください。

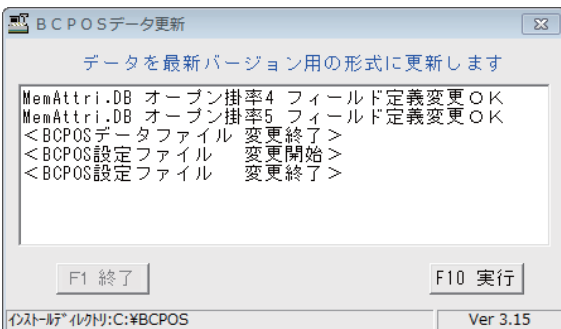


BCPOS 自動起動設定後、セットアップが実行されます。



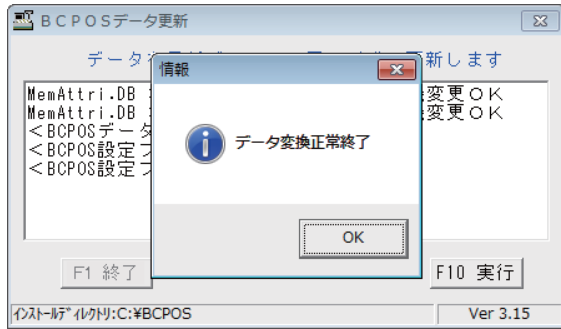
■ 手順 9

[BCPOS データ更新]が表示され、データが更新されます。  
[情報]ダイアログが表示されます。  
データ変換が始まらない場合は[F10 実行]を押します。



■ 手順 10

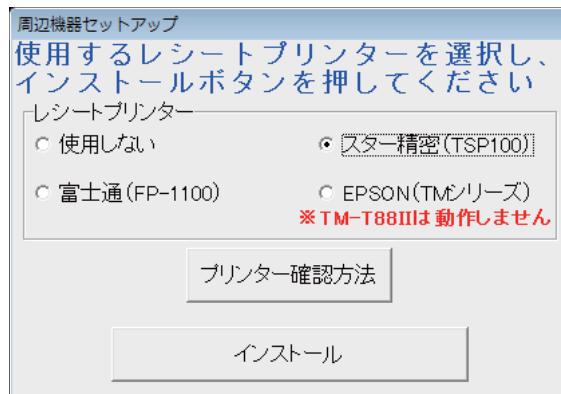
[情報]ダイアログが表示され、データ変換を終了します。



以上でBCPOSのインストール及び自動起動設定は完了です。

使用するレシートプリンタの機種選択

BCPOSのインストール終了後「周辺機器セットアップ」が表示されます。本書「Star TSP100 シリーズ」版ですので、「スター精密 (TSP100)」を選択して「インストール」を押してください。



次項、周辺機器ドライバのインストールへ進んでください。

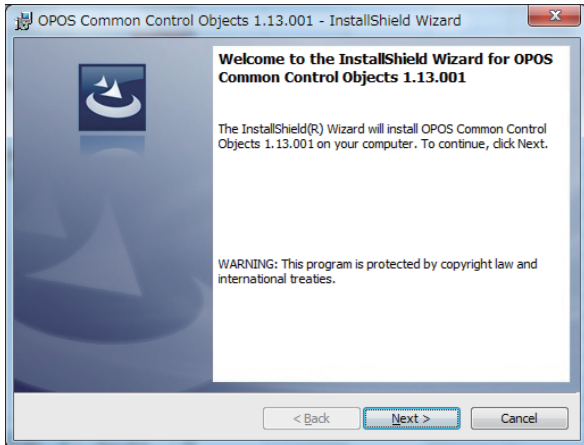
## ② 周辺機器のドライバインストール

周辺機器のドライバをインストールします。

※再インストール・バージョンアップの場合、ご利用のパソコンにすでにインストールされているドライバは表示されません。

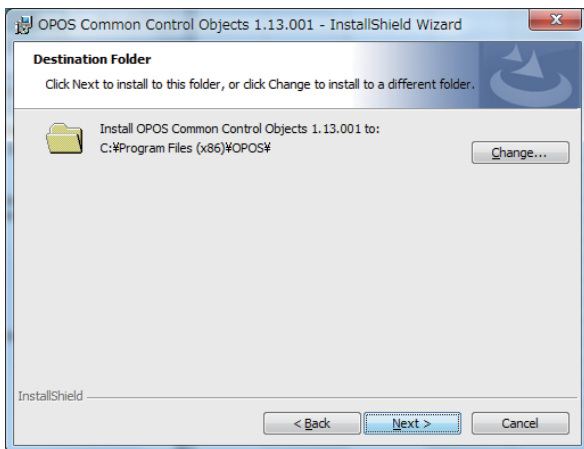
## ■ 手順 1-1

「OPOS Common Control Objects」が開きますので [Next] を押します。続いて、カスタマディスプレイドライバのインストールが開始されます。



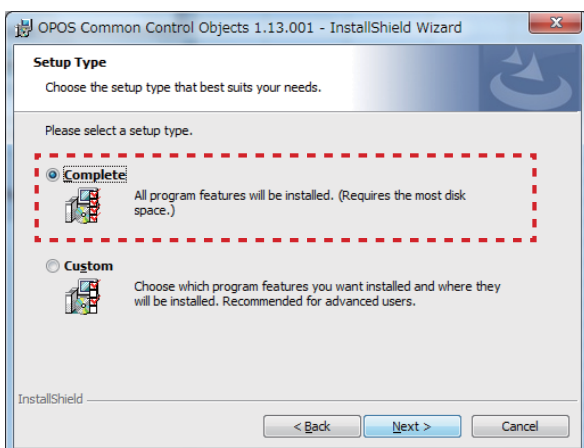
## ■ 手順 1-2

ファイルの保存先を尋ねられます。続けて [Next] を押します。



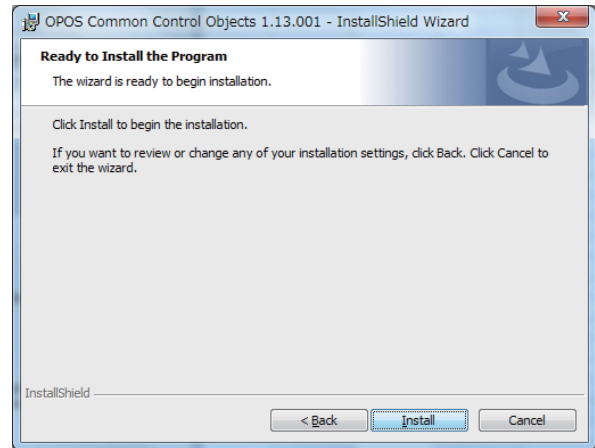
## ■ 手順 1-3

セットアップタイプが表示されます。[Complete] にチェックを入れて [Next] を押します。



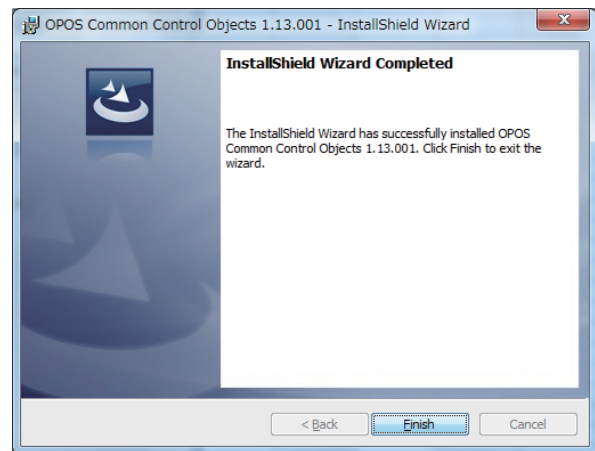
## ■ 手順 1-4

プログラムをインストールする準備ができました画面が開きます。[Install] を押します。



## ■ 手順 1-5

インストールウィザードが完了しましたと画面に表示されますので [Finish] を押して画面を閉じます。





■ 手順 2-1

[Set up ウィザード] が開きますので [次へ] を押します。



■ 手順 2-4

プログラムをインストールする準備ができましたが開きますので [インストール] を押します。



■ 手順 2-2

[ユーザー情報] の入力画面になりますので、ユーザー情報を入力して [次へ] を押します。(ユーザー名は必須)



■ 手順 2-5

[InstallShield] ウィザードを完了しましたと表示されますので [完了] を押して終了します。



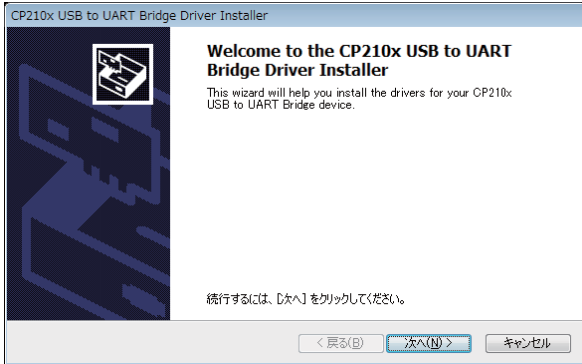
■ 手順 2-3

セットアップタイプ画面が開きます。  
[標準] にチェックを入れて [次へ] を押します。



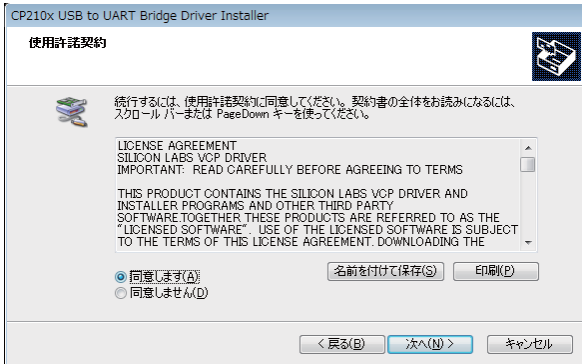
■ 手順 3-1

CP210x USB to bridge Drivers Installer が表示されますので「次へ」を押します。



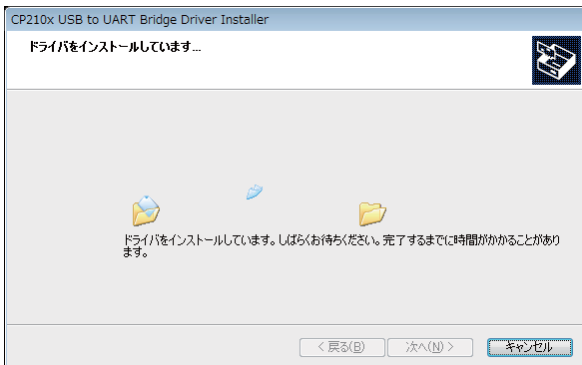
■ 手順 3-2

使用許諾契約が表示されますので「同意します」にチェックを入れ「次へ」を押します。



■ 手順 3-3

ドライバのインストールが開始されます。



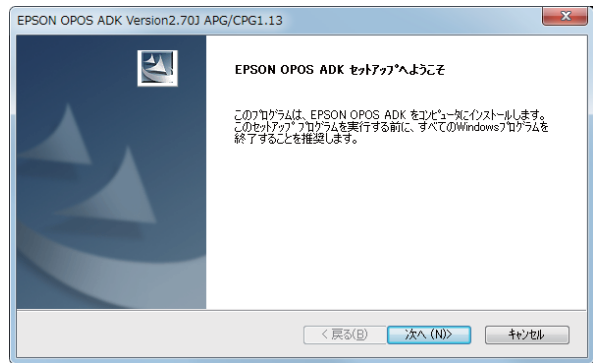
■ 手順 3-4

インストールが完了しましたと画面に表示されますので「完了」を押します。



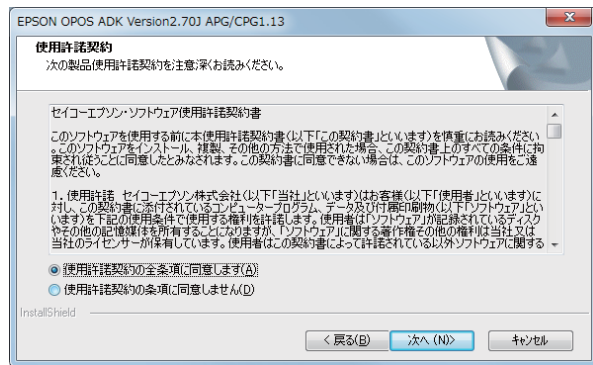
■ 手順 4-1

EPSON OPOS ADK セットアップが表示されます。「次へ」を押してください。



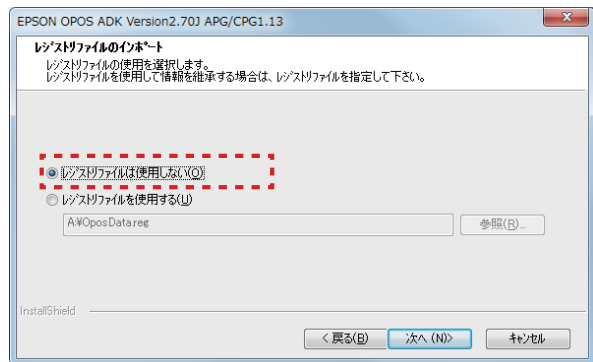
■ 手順 4-2

使用許諾契約が表示されますので「使用許諾契約書の全条項に同意します」にチェックを入れ「次へ」を押します。



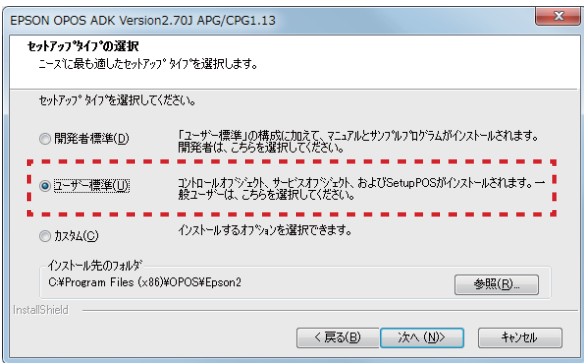
■ 手順 4-3

レジストリファイルのインポートが表示されます。「レジストリファイルは使用しない」にチェックが入ったままで「次へ」を押します。



■ 手順 4-4

セットアップタイプの選択が表示されますので [ユーザー標準] にチェックを入れて [次へ] を押します。



■ 手順 4-5

ファイルコピーの開始が表示されます。 [次へ] を押します。



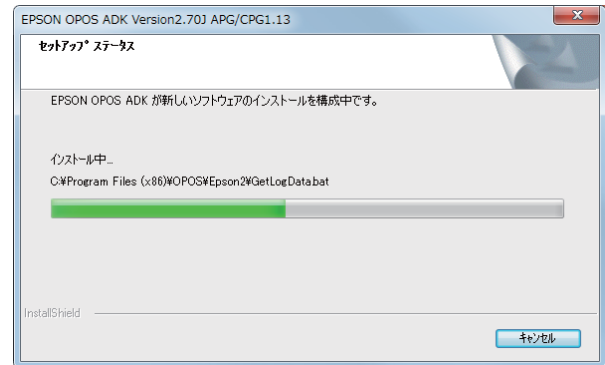
■ 手順 4-6

使用するポートを選択してください。と表示されますので「全てのポート」にチェックを入れて [次へ] を押します。



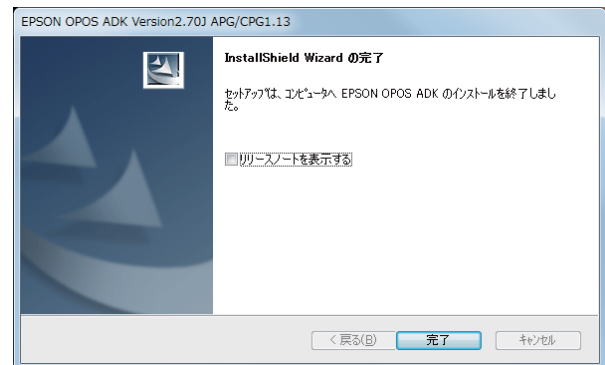
■ 手順 4-7

セットアップステータスが表示されインストールが開始されず。



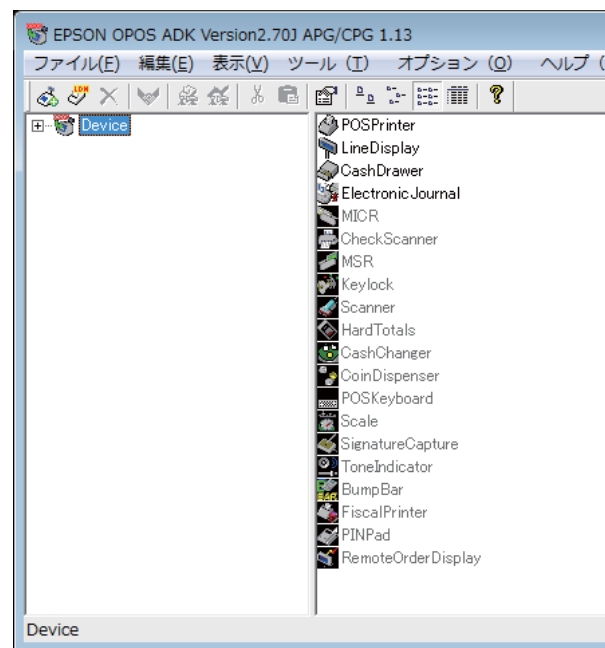
■ 手順 4-8

InstallShieldWizardの完了が表示されますので「リリースノートを表示する」のチェックを外して [完了] を押してください。



■ 手順 4-9

以上で「周辺機器のドライバのインストール」が終了いたしました。次に、下図「EPSON OPOS ADK」が表示されますので、表示させたまま次項「カスタマディスプレイの接続・ポート確認」へお進みください。



以上で周辺機器のドライバインストールは完了です。



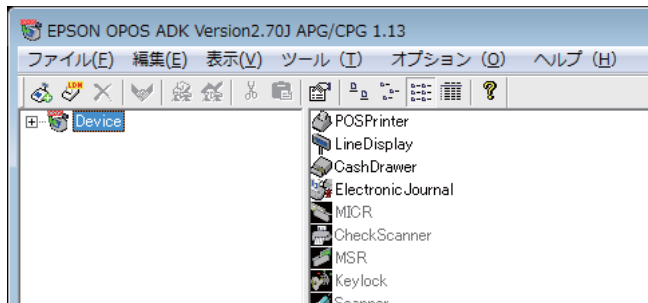
### ③ 周辺機器の設定 (カスタマディスプレイ)

#### 3-1 カスタマディスプレイの接続・ポート確認

次にカスタマディスプレイのポート番号を確認します。

前項 [InstallShield Wizard の完了] が表示され [完了] を押すと、[EPSON OPOS ADK] が表示されます。この画面を閉じないで、カスタマディスプレイをパソコンに接続します。

※接続する際は、なるべくパソコン背面の USB ポートに接続してください。接続した場所を変更しないでください。(パソコン前面に差込んだ場合、ポートの番号が大きくなる場合がございます。)



※パソコンの背面の USB

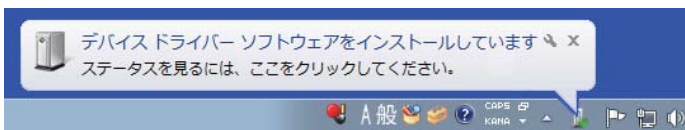
ポートに接続してください。



※注意※ 上記画面[EPSON OPOS ADK]を表示したままで、カスタマディスプレイをパソコンに接続してください。

レシートプリンタをパソコンに接続すると、

下図がパソコンの右下に表示されます。ステータスを表示する場合は、押してください。



【注意】

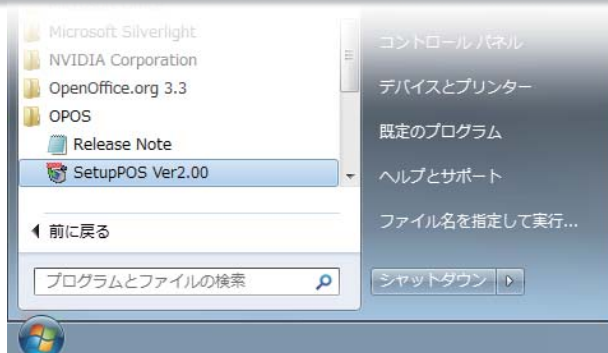
[ドライバソフトウェアのインストール] が表示されます。[Silicon Labs CP210xUSB to UART Bridge(COM ●) インストール] と表示されます。確認等で必用になる場合がありますので、左 [COM ●] の数字をメモ帳等にメモをお願いします。



### ※ トラブルシューティング (SetupPOS の表示方法)

※ BCPOS のインストールした後、自動的に OPOS の設定画面になりますが、インストール後に設定し直したい場合、又は自動的に OPOS 画面にならなかった場合は Windows スタートボタンから [SetupPOS] を起動してください。

Windows 画面左下の [スタート] を押し、[プログラム] → [OPOS] → [SetupPOS] を選択し実行し、前項の手順1から、順番に設定を行ってください。

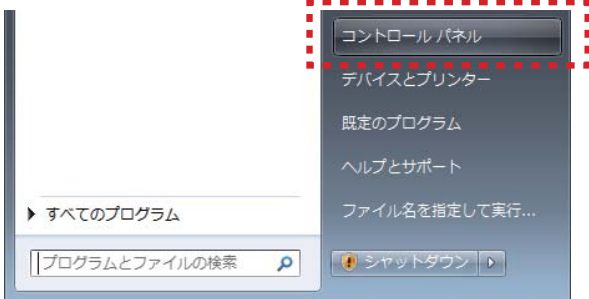


※ **トラブルシューティング (COM の番号がわからなくなった場合)**

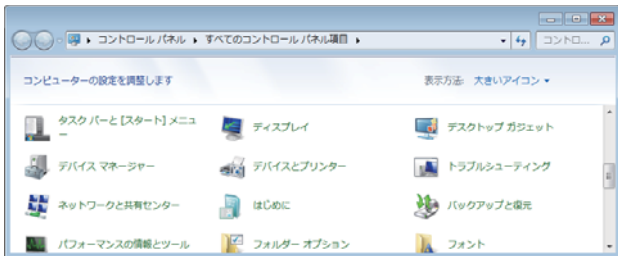
ポート設定で COM の番号がわからなくなった場合には、Windows のデバイスマネージャーから確認する事が可能です。下記方法で、デバイスマネージャーから COM ポートの番号を確認してください。

■ 手順 1 (Windows7 の場合)

スタートメニューを開き (画面左下のウィンドウズのマークを押す)「コントロール パネル」を押します。



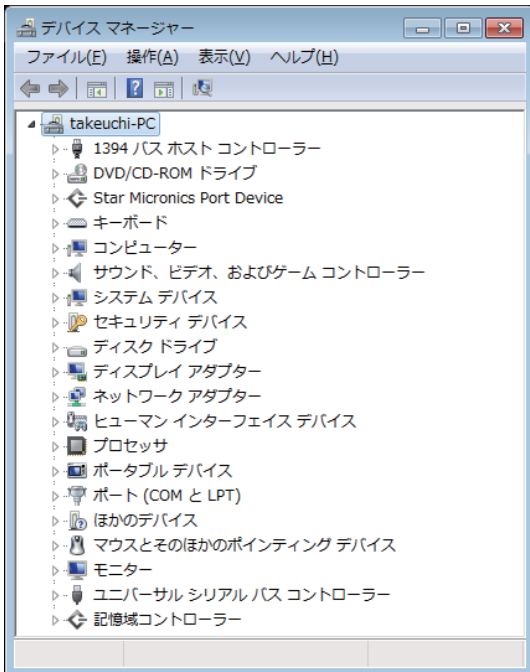
[コントロールパネル] 内の [デバイスマネージャー] を押します。



■ 手順 2

[デバイスマネージャー] が開きます。[ポート] を押して展開してください。

[Silicon Labs CP210xUSB to UART Bridge(COM ●)] が、カスタマディスプレイの COM の番号になります。  
[COM ●] の数字をメモ帳等にメモをお願いします。

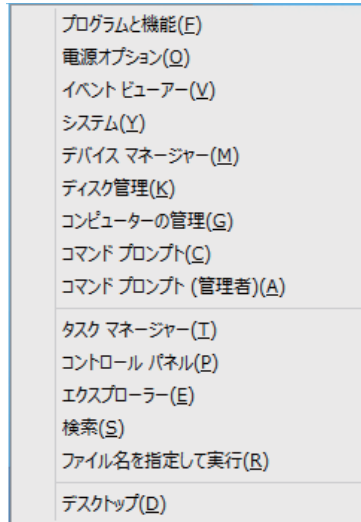


■ 手順 1 (Windows8 の場合)

スタートメニュー内のデスクトップを押してデスクトップを表示し、キーボードの Windows キーと X を同時に押します。下図が表示されます。



「デバイスマネージャー」を押します。



設定

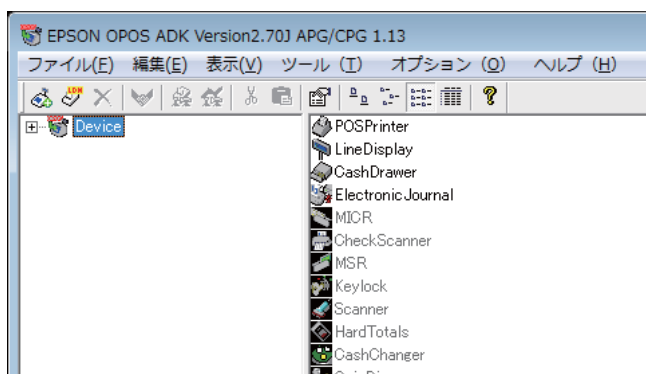
## 3-2 カスタマディスプレイの設定

カスタマディスプレイの設定を行います。COM 番号が 5 以上の場合は、設定できるポート番号の範囲を広げる設定を行い、ポート番号を設定します。

## ■ 手順 1

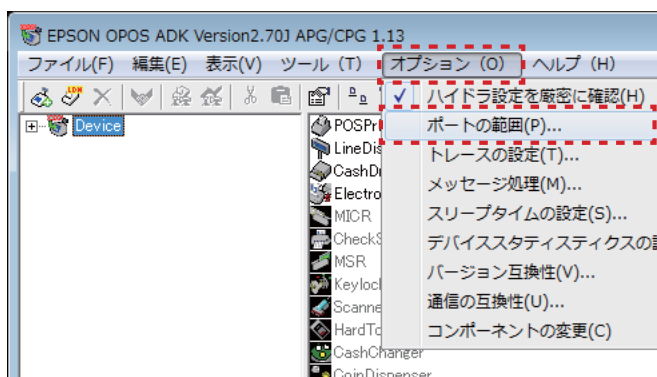
[EPSON OPOS ADK] が表示されます。

右図 [EPSON OPOS ADK] 画面の表示方法は P-18 参照



## ■ 手順 2

上部メニューより [オプション] を押して、展開されたメニューから [ポートの範囲] を押します。



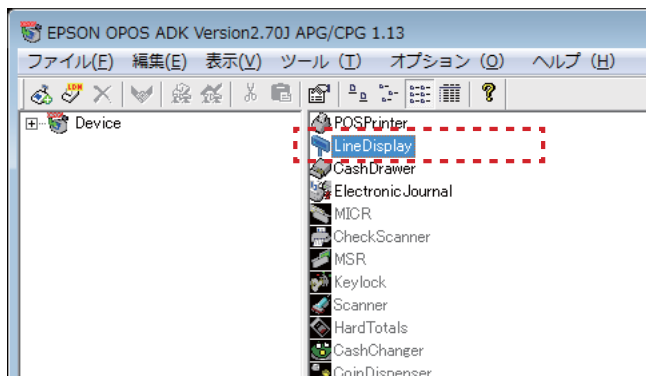
## ■ 手順 3

[ポートの範囲] が開きます。COM ポートの最大数 ▶ を押して最大数の [10] に設定してください。設定が終わりましたら [了解] を押してください。



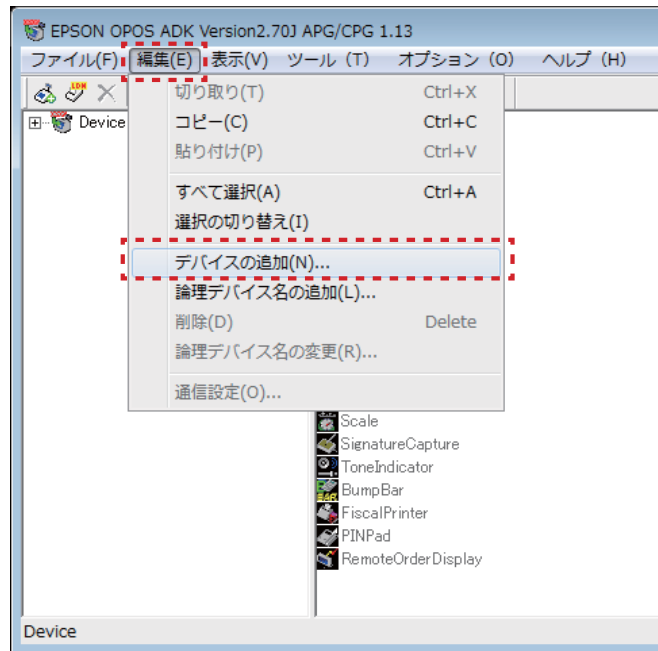
## ■ 手順 4

[Line Display] を押して選択します。



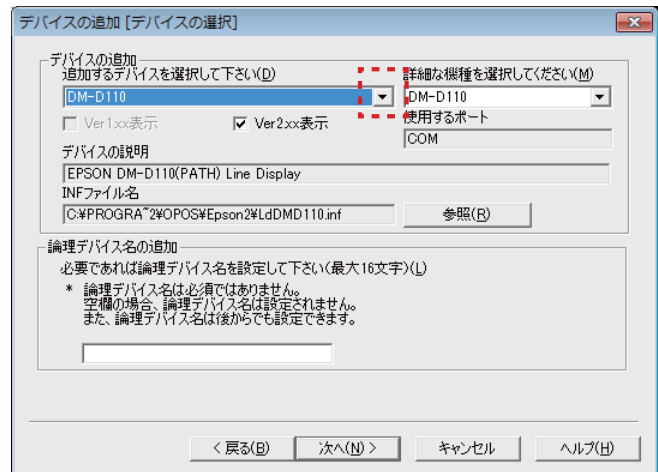
■ 手順 5

上部メニューより[編集]を押して、展開されたメニューから[デバイスの追加]を押します。



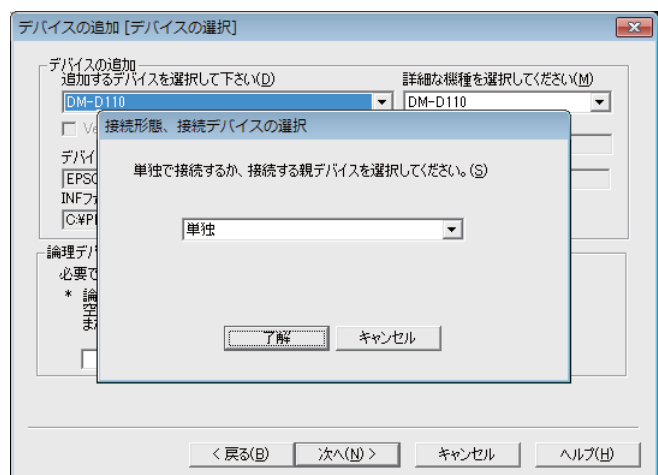
■ 手順 6

デバイスの追加 [デバイスの選択]が表示されますので、「DM-D110」では無い場合 ▼ をクリックしてメニューを展開して「DM-D110」を選択後「次へ」を押します。



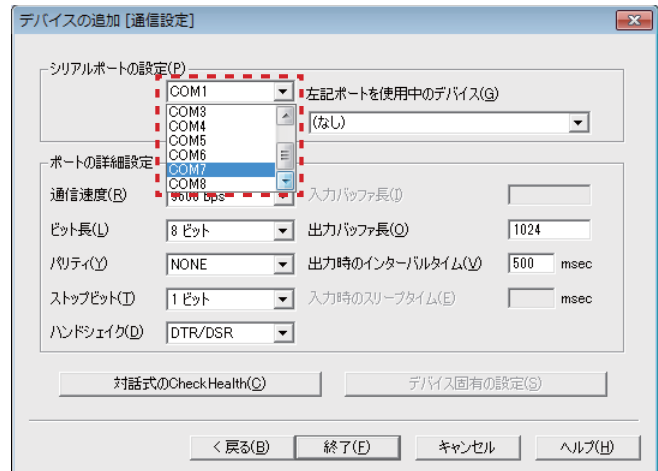
■ 手順 7

[接続形態、接続デバイスの選択]が表示されます。「単独」で[了解]を押してください。



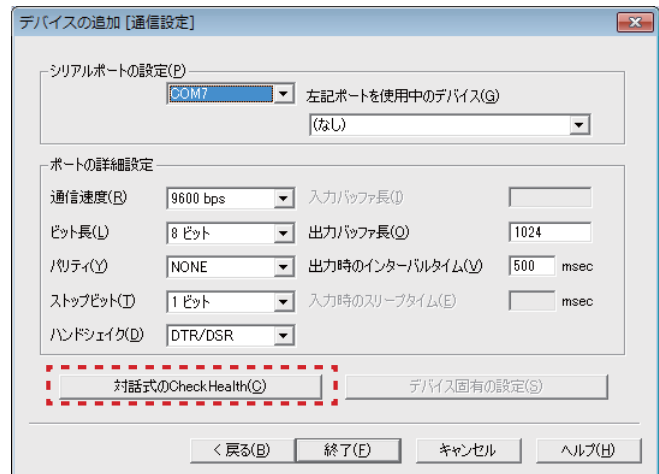
■ 手順 8

デバイスの追加 [通信設定] が表示されます。  
前項または前々項でメモした COM の番号と同じ番号を [シリアルポートの設定▼] の▼ボタンを押して、プルダウンメニューから選択してください。(COM1 ~ COM10)



■ 手順 9

[対話式の Check Health] を押してください。



■ 手順 10

[LineDisplay Check Health Interactive] が表示されますので、[実行]を押してください。

※カスタマディスプレイがパソコンに接続されて、電源が入っている事を確認してください。カスタマディスプレイに文字が表示されれば OK です。

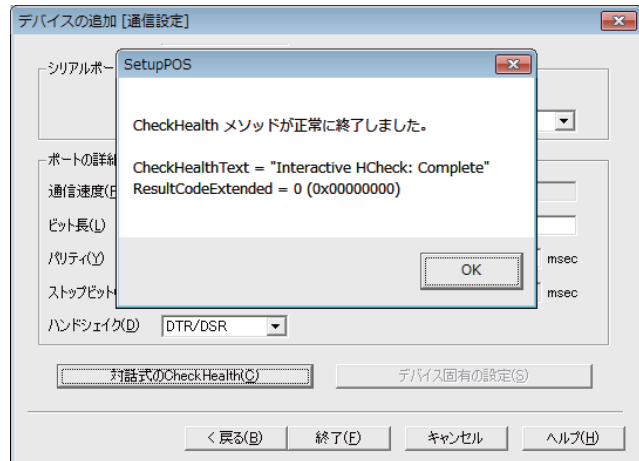
[終了]を押してください。





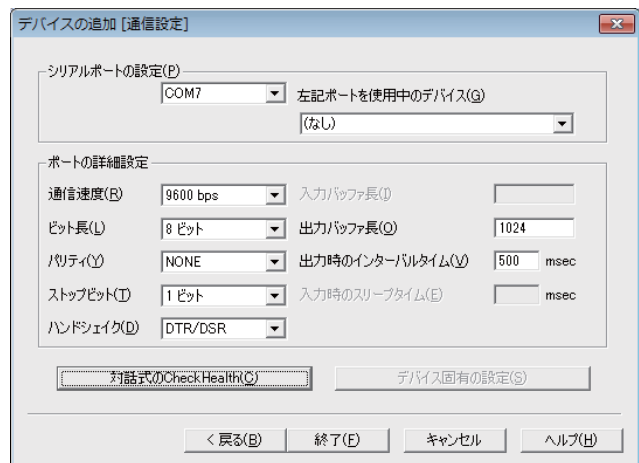
■ 手順 11

[SetupOPOS] が表示され [Check Health メソッドが正常に終了しました] と記載されていますので [OK] を押してください。

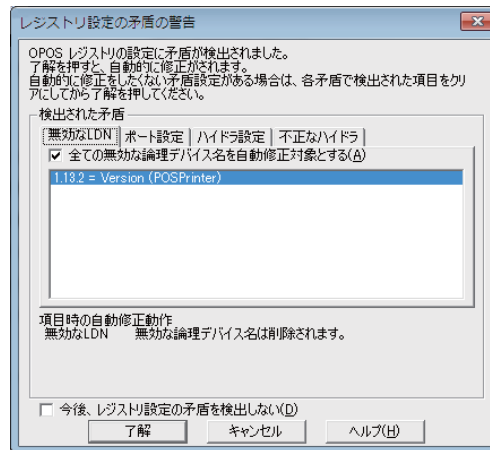


■ 手順 12

デバイスの追加 [通信設定] を終了します。  
[終了] を押してください。



※右図 [レジストリ設定の矛盾の警告] が表示されたら、  
[了解] を押して閉じてください。



以上でカスタマディスプレイの  
設定は完了です。



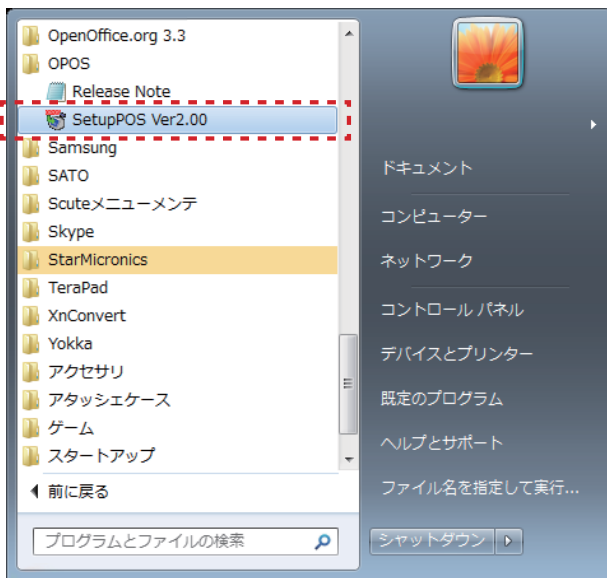
## ※ トラブルシューティング (カスタマディスプレイ設定の呼出し)

カスタマディスプレイ設定の呼出し [EPSON OPOS]・チェックヘルスの実行を行う場合は、下記手順で行ってください。

### 【カスタマディスプレイ設定 [EPSON OPOS] の呼出し方法】

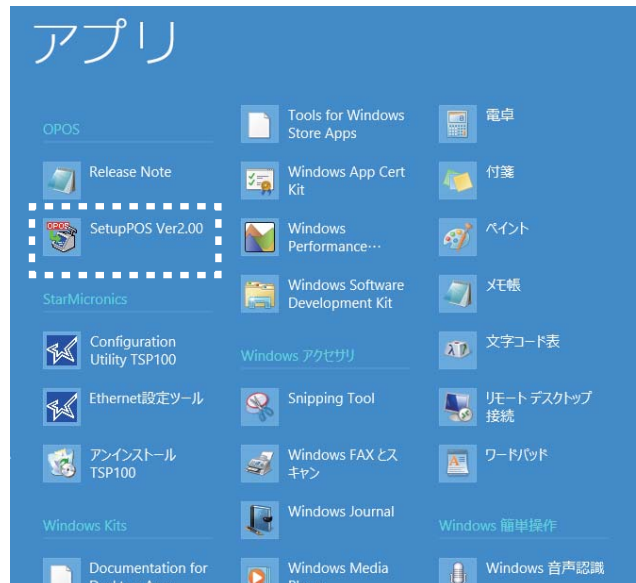
#### ■ Windows7 の場合

スタートメニューを開き (画面左下のウインドウズのマークを押す)「すべてのプログラム」内の [OPOS] フォルダ [SetupPOS] を押します。



#### ■ Windows8 の場合

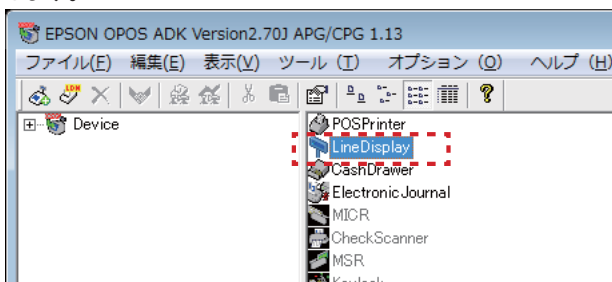
スタートメニューまたはデスクトップで、キーボードの Windows キーと Q を同時に押します。 [すべてのプログラム] が表示されます。 [SetupPOS] を押します。



### 【チェックヘルスの呼出し方法】

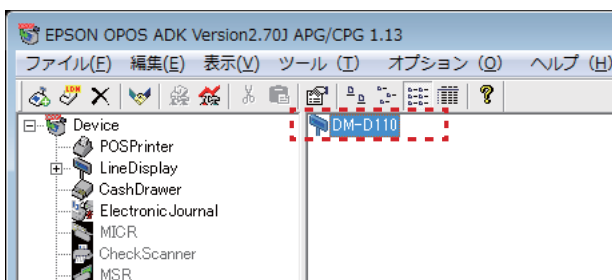
#### ■ 手順 1

プログラムを呼び出して [LineDisplay] をダブルクリックします。



#### ■ 手順 2

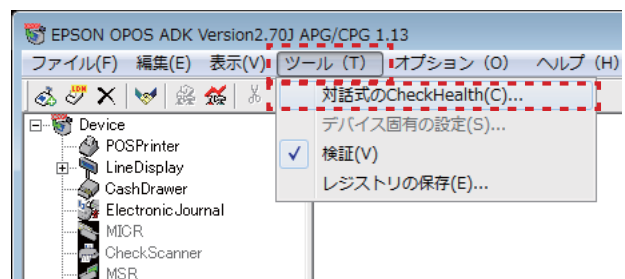
右側の窓 [DM-D110] を押して選択します。



#### ■ 手順 3

上部メニューのツールを押して、展開されたメニュー内の [対話式の CheckHealth] を押します。

※ CheckHealth を実行する場合はカスタマディスプレイを接続してから実行してください。





## ④ 周辺機器の設定 (レシートプリンタ・ドロア)

### 4-1 レシートプリンタ・ドロアの接続

レシートプリンタとドロアの設定を行います。レシートプリンタをパソコン (POS) に接続して、ドロアをレシートプリンタに接続してください。

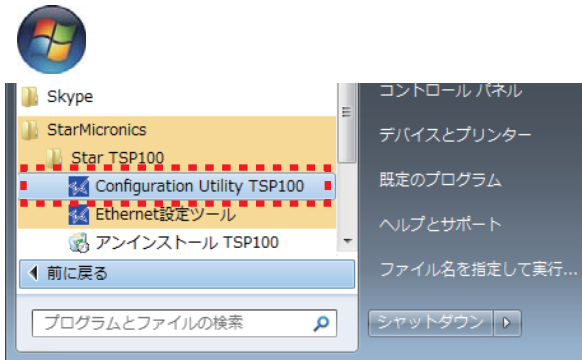


※注意※ レシートプリンタをパソコンに接続してください。ドロアをプリンタに接続してください。

### 4-2 レシートプリンタ設定

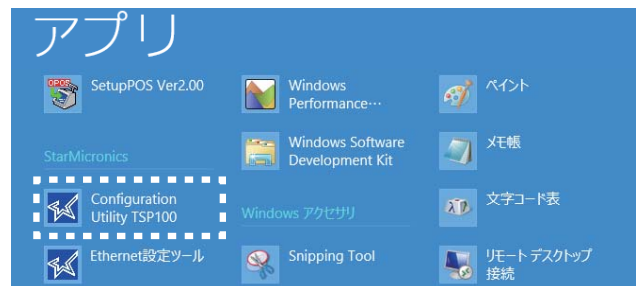
#### ■ 手順 1 (Windows7 の場合)

スタートメニューを開き (画面左下のウィンドウズのマークを押)、 「すべてのプログラム」内の [Star Micronics] フォルダ [Star TSP100] フォルダ [Configuration Utility] を押します。



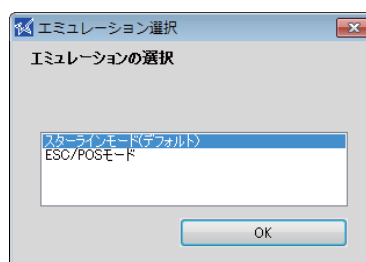
#### ■ 手順 1 (Windows8 の場合)

スタートメニューまたはデスクトップで、キーボードの Windows キーと Q を同時に押します。 [すべてのプログラム] が表示されます。 [Configuration Utility] を押します。



#### ■ 手順 2

[エミュレーションの選択] が表示されます。 [OK] を押してください。



#### ■ 手順 3

[インフォメーション] が開きます



※レジロールの紙幅が 80mm と 58 mm で [手順 4] [手順 6] が異なります。  
 (BCPOS の設定については、周辺機器の設定後、P-24「BCPOS 機種設定」を参照してください)

■ 手順 4 (プリンタの設定)

左メニューより [プリンタ設定] を押します。

□ 文字設定

[ 国際文字 ]

メニューから [ 日本 ] を選択します。

[ 文字種 ]

メニューから [ 日本漢字 ] を選択します。

□ 印字設定

【レシートが 80 mm の場合】

・ 印字設定の [ 印字幅 ] プルダウン  
 メニューから [ 72mm ] を選択します。

【レシートが 58 mm の場合】

・ 印字設定の [ 印字幅 ] プルダウン  
 メニューから [ 51mm ] を選択します。



■ 手順 5 (レシートの上部余白設定)

左メニューより [ECO 設定] を押します。

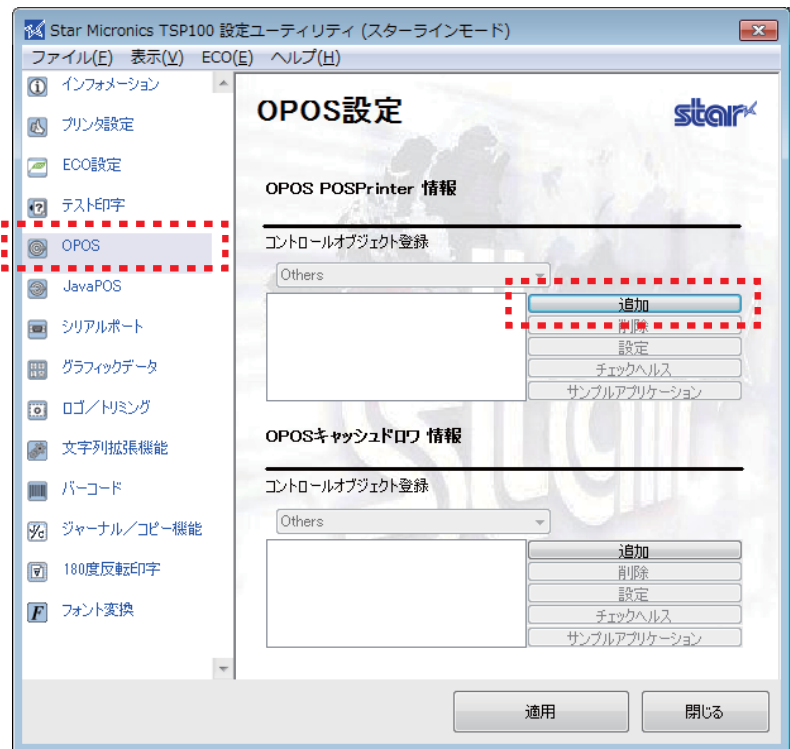
□ トップマージン

メニューから [ 11mm (TSP143U 設定値) ] を  
 選択します。

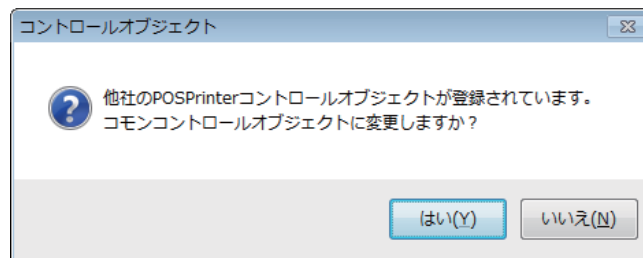


■ 手順 6-1 (OPOS 設定プリンタ)  
左メニューより [OPOS] を押します。

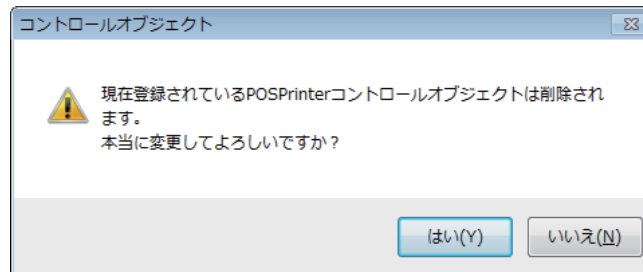
□ OPOS POSPrinter 情報  
[ 追加 ] を押します。



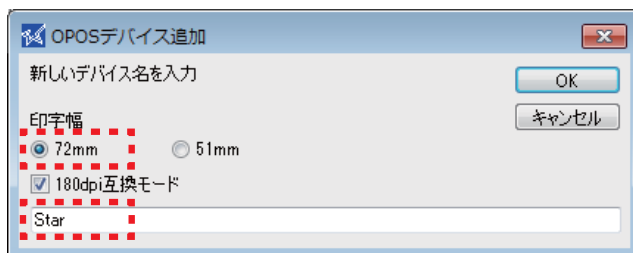
■ 手順 6-2 (OPOS 設定プリンタ)  
[コントロールオブジェクト] が表示された場合  
[ はい ] を押します。



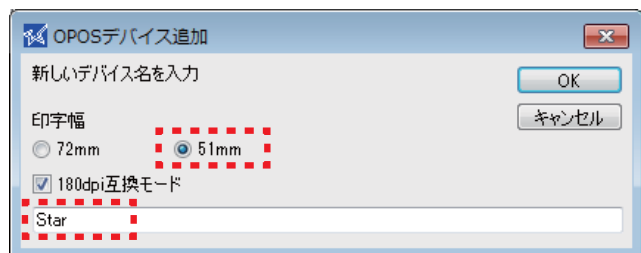
■ 手順 6-3 (OPOS 設定プリンタ)  
[ 現在登録されている POS . . . . . ] が  
表示されます。[ はい ] を押します。



■ 手順 6-4 【レシートが 80 mm の場合】  
[OPOS デバイス追加] が表示されます。  
[ 印字幅 ] の [72mm] にチェックをいれます。  
180dpi 互換モードにもチェックをいれ [OK] を押します。  
※名前は必ず [Star] と入力してください。



■ 手順 6-4 【レシートが 58 mm の場合】  
[OPOS デバイス追加] が表示されます。  
[ 印字幅 ] の [51mm] にチェックをいれます。  
180dpi 互換モードにもチェックをいれ [OK] を押します。  
※名前は必ず [Star] と入力してください。

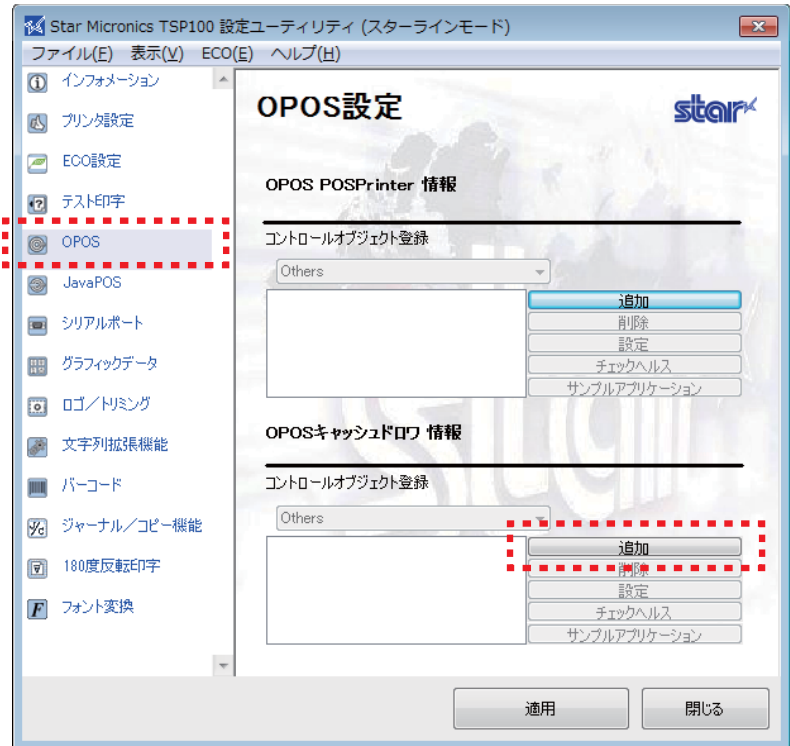


以上でレシートプリンタの設定は完了です。

4-3 ドロアの設定

■ 手順 1-1 (OPOS 設定ドロウ)

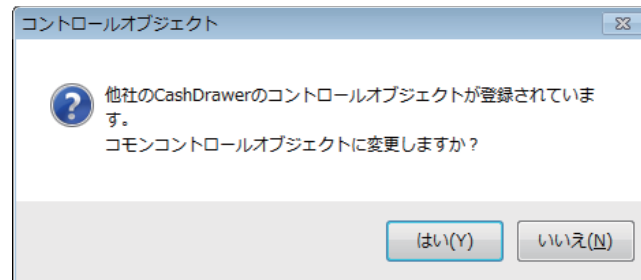
OPOS 設定画面の [OPOS キャッシュドロウ] の [追加] を押します。



設定

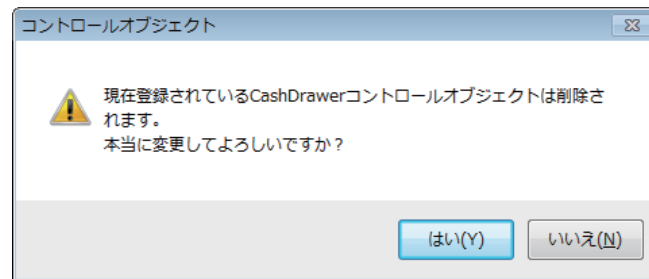
■ 手順 1-2 (OPOS 設定ドロウ)

[コントロールオブジェクト] が表示された場合 [はい] を押します。



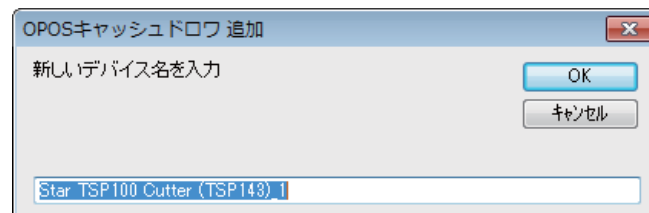
■ 手順 1-3 (OPOS 設定ドロウ)

[現在登録されている Cash . . . . .] が表示されます。 [はい] を押します。

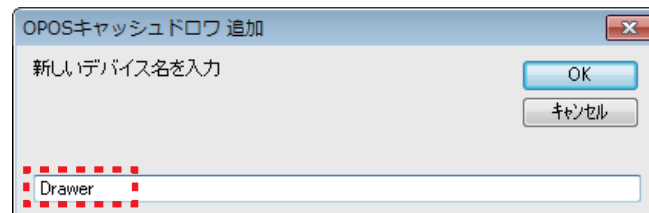


■ 手順 1-4 (OPOS 設定ドロウ)

[OPOS キャッシュドロウ追加] が表示されます。 新しいデバイス名を [Drawer] として [OK] を押します。



※名前は必ず [Drawer] と入力してください。



## ■ 手順 2

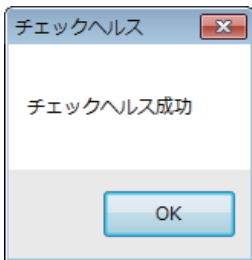
[OPOS 設定] 画面に戻りますので [適用] を押します。



## ■ 手順 3 (チェックヘルスの実行)

追加された [Star TSP . . . .] を選択後、POS Printer の [チェックヘルス] を押してください。

チェックヘルス画面に [チェックヘルス成功] と表示され、レシートプリンターから印字見本のレシートが出力され、キャッシュドロワが OPEN すれば設定は終了です。



「適用」を押して「閉じる」を押して終了です。



以上でドローの設定は完了です。





## ② -5 USB ロックスターの設定（オフライン利用）

インターネット環境が無い場合は、お客様のご契約内容を USB ロックスターと、パスワードで管理させていただいております。

ご利用期限やご契約いただいたオプション機能の ON/OFF の制御をする為のツールが、ロックスターであり、パスワードによる契約期間とオプション利用の認識を行っております。

### ※ ロックスターとパスワードについて ※

ロックスターをコンピュータが認識しないと BCPOS が正常稼働できない仕組みとなっておりますので、万が一故障した場合、新しいロックスターと交換いたします。再度、パスワードの設定を行うことにより今までどおり使用できます。尚、故障したロックスターは弊社までご返却をお願いします。（※ 故障の場合は無償交換となります。）

## USB ロックスターのインストール

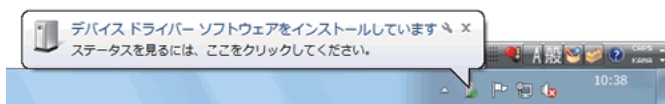
Windows7/Windows10\_8.1\_8 ではロックスターを USB ポートに挿入すると自動的に認識します。

※ USB ロックスターを接続する際は、パソコン側の USB 差込口を良く見てから挿してください。  
無理に挿そうとすると故障、破損の原因となります。（注：破損の場合は有償交換になります。）



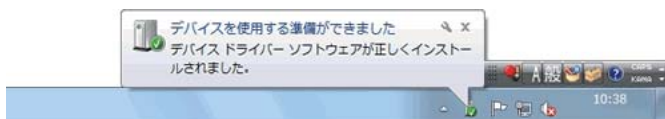
### ■ 手順 1（Windows7 の場合）

ロックスターを USB ポートに差し込んでください。自動的にハードウェアの認識を開始し、ドライバをインストールします。



### ■ 手順 2

ドライバのインストール終了後、完了画面が表示されます。以上でロックスターのインストール作業は終了です。



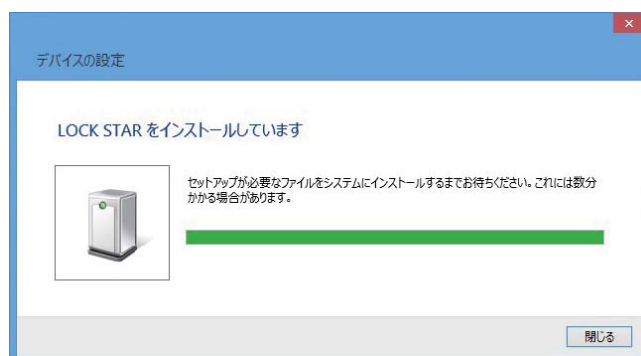
### ■ 手順 1（Windows10\_8.1\_8 の場合）

ロックスターを USB ポートに差し込んでください。自動的にハードウェアの認識を開始し、ドライバをインストールします。（ステータスの確認はデスクトップから行ってください。）



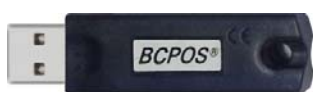
### ■ 手順 2

ドライバのインストール終了後、完了画面は表示されません。ステータスを確認するには、デスクトップ画面下のステータス（下図囲み）を押してください。



## バージョンアップの際の注意点

LockStarUSB は、BCPOS を制御している重要な USB メモリですが、約 2006/04 月以前に発行した物は、Windows7 (64bit)・Windows8 以上に対応していないで、交換が必要となります。（※ LockStar の交換は有償となります）



Windows7(64bit).8 については、  
約 2006/04 以前に発行された Lock Star USB  
となりますので交換が必要です。  
Lock Star 番号 ( ~ 007499 )



約 2006/04 以降に発行された Lock Star USB  
となりますので全ての WindowsOS で動作しますので  
交換は不用です。【 現行モデル 】  
Lock Star 番号 ( 007500 ~ )

※ LockStar 番号でご判断ください。

## ② - 6 アクティベーションの設定（オンライン利用）

アクティベーションとは、お客様の契約情報を元に、ビジコムで設定した BCPOS の有効期限やオプションの利用権限等を、インターネットを使い BCPOS へ反映させる仕組みで、ロックスターの様に、次項「③ 期限パスワードの更新」をお客様が行う必要がない便利な機能です。

これにより、ロックスターでは必用だった定期的な、更新設定が不要となりました。

（※ご利用には、インターネット環境必要です）

### アクティベーションキーの設定

アクティベーションの設定は、初回の一度だけとなりますが、パソコンを入換えた場合は必要となります。

#### ■ 手順 1

[ 開始メニュー ] から [ F6 基本設定 ] を押します。



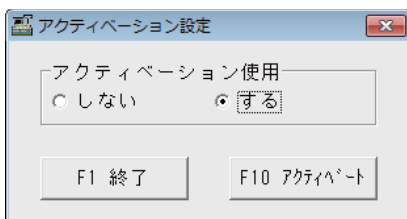
#### ■ 手順 2

[ 基本設定 ] から [ F5 認証設定 ] を押します。



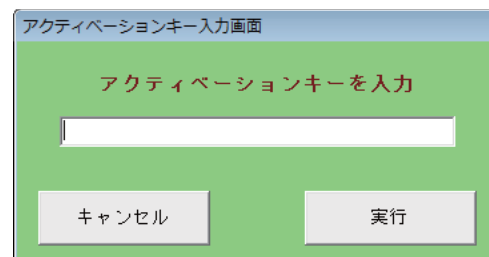
#### ■ 手順 3

[ アクティベーション設定 ] が開きますので、「アクティベーション使用」を [ する ] にして、[ F10 アクティベート ] を押します。



#### ■ 手順 4

[ アクティベーションキー入力画面 ] が開きますので、導入時に同封した【重要：BCPOS アクティベーションキーのお知らせ】に記載されている 12 桁の数字を入力して下さい。



### アクティベーションご利用時の注意点

- ・BCPOS1 台につき 1 つのアクティベーションキーとなります。
- ・インターネット接続が無いと、認証が行えず「期限残り〇日」と表示され、最終的にトレーニングモードへ移行してしまいます。  
(不意なインターネット障害等が発生した場合は、期限残り〇日以内と表示されますが、期限日以内に障害復旧することで、通常の状態へ戻ります。)
- ・インターネット接続が不要になった場合は、ロックスターへの運用が可能ですので、弊社までお問合せください
- ・「BCPOS アクティベーションキーのお知らせ」を紛失された場合、弊社 WEB サイトの「お客様ショップページ (マイページ)」にアクティベーションキーを記載しております。



## ③ BCPOS トレーニングモード・期限更新

## ③-1 トレーニングモードの使用

トレーニングモードとは、レジ操作に慣れるための練習を行う設定で、レジ画面上部に「トレーニングモード」と表示され、レシートにもトレーニングモードと印字されます。

日報への書込みをはじめ商品・顧客・在庫・ポイント等の様々なデータを記録しません。また、本部管理システム「TenpoVisor」をご利用の場合でも、トレーニングモードのデータを送信しません。

「開始メニュー」>「基本設定」>「全般設定」>「初期」

「トレーニングモード設定」【する】にチェックを入れて「F10 更新」を押してください。

Ver6

初期 初期2 初期3 小計 NON-PLU 機種 ミュバ テイル外リ 顧客 レシート ライDSP 印字 業種OP ホ\*イ

店舗設定  
支店店舗名   
(支店設定時のみ有効)  
店コード  日付変更時刻  時 (0~23時)

税設定  
税率  % 税金計算  
 切捨  四捨五入  切上  
値引 税種別初期表示  
 外税  内税  非課税  
入金 税種別初期表示  
 外税  内税  非課税  
外 税種別  
 外税  内税  非課税

雑誌・書籍設定  
雑誌使用  
 しない  する  
未登録雑誌売上  
部門コード   
(数値3桁指定 例:990)  
書籍使用  
 しない  する  
未登録書籍売上  
部門コード   
(数値3桁指定 例:999)

トレーニングモード設定  
 しない  する  
レジNo   
局番

仕入値設定  
移動時使用金額  
 移動平均  標準原価  
粗利計算使用金額  
 移動平均  標準原価

その他  
無在庫確認表示  
 しない  する  
簡易登録JAN  
 しない  する  
仕入に消費税使用  
 しない  する  
ロゴ表示  
 しない  する

総額表示使用  
 しない  する

テンキーカラー  
青3(背景:薄 文字:黒) サンプル

TABキーで項目移動 F10で更新

F1終了	F2初期	F3小計	F4NONPLU	F5ミュバ	F6テイル外リ	F7顧客	F8レシート	F9ディスプレイ	F10更新
S_F1初期3	S_F2初期2		S_F4機種		S_F6*イ	S_F7業種		S_F9印字	文字

Ver 2.33



## ※ トラブルシューティング (レジ画面に周辺機器の○○○エラーと表示される)

[ 対処方法 ]

- ① 周辺機器の電源を切り、パソコンとの接続ケーブルを抜き差しして電源を入れます。
- ② BCPOS のレジ画面を開き直してください。



## ※ トラブルシューティング (レジ画面がトレーニングモードになる)

レジ画面がトレーニングモードになる場合には、下記の事項が該当します。

- ① ロックスターが抜けている。 >> ロックスターを一旦抜いて、再度差込んでください。
- ② ロックスターが認識されない。 >> ロックスターを一旦抜いて、別の USB ポートに接続してください。
- ③ 期限パスワードが切れている。 >> 次項 [ 期限パスワードの更新 ] を実行してください。

※上記手順で①・②・③を実行して改善されない場合は、巻末のサポートデスクへご連絡ください。

### ③ - 2 期限パスワードの更新 (アクティベーション利用時は不要です)

期限パスワードとは BCPOS 使用権の有効期限を設定するためのパスワードです。  
 レントウェアでご利用の場合、半年または1年毎にパスワードを入力して、  
 利用可能期限を更新する必要があります。  
 (買取の場合は購入時に1度パスワードを入力します。)



各種オプションに変更があった場合はその都度になります。  
 (買取の場合もオプションに変更があった場合は必要です。)

通常、レントウエアのご契約を更新する場合、期限が切れる前に新しいパスワードを郵送でお送りします。  
 (買取でご利用の場合はこの限りではございません。)

期限パスワードを更新することにより、利用期間の延長やオプションの変更を行います。

#### 期限パスワードの設定

■ 手順 1

[開始メニュー]から[レジ画面起動]を押します。



■ 手順 2

[レジ画面]右下テンキー部分の[H]を押します。

タッチ版

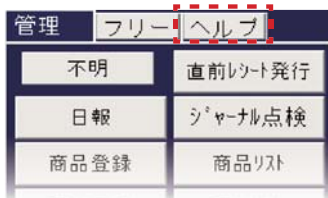


ライン版



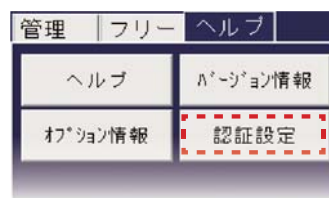
■ 手順 3

[管理画面]が開きますので、上部タブより  
 [ヘルプ]を押します。



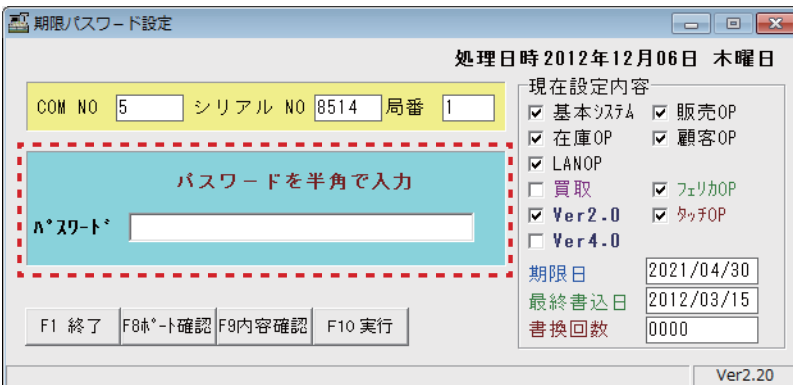
■ 手順 4

[ヘルプ画面]内の[期限PW設定]を押します。



■ 手順 5

[期限パスワード設定]画面の中央[パスワード]入力欄に、弊社より郵送された「期限パスワード」を入力して  
 [F10 実行]を押してください。



#### バージョンアップの際の注意点

BCPOS Ver2.5-2.9-3.0 をご利用の場合、  
 Ver6.0 へバージョンアップする際には、  
 パスワードの再発行が必要となりますので、  
 別途お問合せください。

※ご注意※

期限パスワードはロックスター (ソフトの鍵) が接続されていないと設定できません。  
 また、期限パスワードは1日に10回しか入力実行できませんのでご注意ください。



## BCPOS ver 6.0 動作環境

BCPOS の動作環境は以下のとおりです。

	最低	推奨
OS	Windows7 (32&64Bit) , Windows8 (32&64Bit) , Windows8.1(32&64Bit) , Windows10(32&64Bit)	
CPU	Celeron 2GHz 以上	Core2Duo 2GHz 以上
メモリ	2GB 以上	4 GB 以上
ハードディスク空き容量	1GB 以上	10GB 以上
ディスプレイ解像度	800 × 600px 以上	
バーコードリーダー	ビジコム : BCN-1200U (USB タイプ)	
対応カスタマディスプレイ	ビジコム : BC-VF シリーズ (EPSON : DM-D110、210 シリーズ準拠品)	
対応キャッシュドローア	ビジコム : BC-DW シリーズ (6ピンモジュラータイプ、RS-232C タイプ)	
対応レシートプリンタ	富士通アイソテック : FP-1100 スター精密 : TSP100 シリーズ (注1) EPSON : TM-T 88 III~Vシリーズ (注2)	

注1 : スター精密 : TSP100 シリーズの LAN タイプは未対応です

注2 : EPSON : TM-T 88 シリーズの USB・LAN タイプは未対応です

※外部機器を接続する場合、シリアルポートのあるものを推奨します

無い場合には別途 USB シリアル変換コードが必要になりますのでお問い合わせ下さい

#### ご注意

- 本書及びこのプログラムは著作権上、無断で使用・複製することはできません
- 本製品の内容について万一不備な内容がございましたら下記までご連絡ください
- 本書及びこのプログラムの内容は、予告なしに変更することがございます

BCPOS は株式会社ビジコムの登録商標です  
Windows7,Windows8,Windows8.1,Windows10 は米国マイクロソフト社の登録商標です  
その他、記載された製品名は各社の商標または登録商標です

## BCPOS インストールガイド

発行 株式会社ビジコム

Web : <http://www.busicom.co.jp/>  
E-Mail : [info@busicom.co.jp](mailto:info@busicom.co.jp)